



江別ユネスコ協会事務局だより 2014年6月24日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当伊藤☎381-1069)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が登録！世界遺産は1007件に

日本政府が2013年1月にユネスコ世界遺産センターに正式推薦書を提出した「富岡製糸場と絹産業遺産群」については、昨年9月24～25日にユネスコの諮問機関イコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査を受け、本年4月に世界遺産リストへの記載が「適当」とする勧告が出されました。

今般、カタール国のドーハで開かれた第38回世界遺産委員会において、6月21日、登録が決定しました。日本にある世界遺産としては18番目です。今回の委員会の結果、世界遺産の総数は文化遺産780件、自然遺産197件、複合遺産30件となり、ついに1,007件の大台に乗せました。

知床で開かれた「日本ユネスコ運動全国大会」盛況裡に終わる！

「第70回日本ユネスコ運動全国大会」は、6月7～9日に北海道斜里町・羅臼町で開催され、「知床」の世界自然遺産登録10周年を祝って全国から集まった約600名（道内を含む）の会員・関係者が協力して、賑やかに大会諸行事を展開しました。知床は国立公園50周年を迎えて、町ぐるみの祝賀ムードの中であり、遠隔地から参加した全国のユネスコ会員に知床の魅力を説明し、かつ自然保護の今後のあり方について熱心に議論する町民の姿が多く見られました。この大会には中国から中国ユネスコ協会連盟の陶西平会長（世界連盟副会長）ほか1名、韓国から韓国ユネスコ協会連盟の李平宇・前会長ほか30名が参加し、外交が停滞している危機感を表明して改善のため日本政府が積極策をとるよう訴えていました。

国内では東北地区から約50名、関東地区から約110名、近畿地区から約50名などのほか各地から予想を上回る参加者があり、地元関係者は感激していました。閉会式の最後に、未定だった2015年度の全国大会開催地が「和歌山」に決定したとの報告があり、一同歓呼の声を上げました。

今回の大会運営については、知床が交通の不便な地域にある事情から、道ユ連協を中心とする運営委員会（委員長：大津・道ユ会長）と、開催地の知床ユ協を中心とする実行委員会（委員長：鈴木・知床ユ協会会長）の2本立てとし、運営委員会は主に企画・事務的準備作業を、実行委員会は諸行事の具体案策定・現地準備作業を担当。それぞれ連携し遂行しました。当協会の田村会長も道ユ連協・副会長の立場から運営委員会・副委員長を委嘱され、舞台裏の作業で協力しました。

道ユネスコ連絡協議会の負担金が5割アップ！定期総会が終了

北海道ユネスコ連絡協議会の2014年度定期総会が、4月20日午後2時より札幌市すみれホテルにおいて開催され、6月に知床で行われる全国大会の準備状況の確認など重要事項が審議されました。また、全国大会の準備作業を円滑に継続するため、任期満了による役員改選の件については、主要ポストを全員留任とすることで非常事態を乗り切ることに決めました。当協会の田村会長も道ユネスコ連協の副会長を重任することになりました。任期は2016年度定期総会までです。

なお、構成団体会員である各地ユネスコ協会の負担金の計算基準を、これまでの会員1人当たり200円から、300円に改定することになりました。

「コラボのたね」に当協会のイベント案内などを載せています

江別市内で公益的な活動をする市民活動団体の情報提供の場として、江別市（市民生活課）は「コラボのたね」というHPを開設し「えべつ協働ねっとわーく」に運営を委託しています。江別ユネスコ協会も利用登録をし、行事案内等を載せています。会員の皆様の検索・活用をお願いします。

